

4月

2025年

みやま

第323号

病院理念

『患者さまの不安をとること』

当院の基本方針

「地域に根ざした安心できる医療」

「精神科医療の充実」

「老人医療」医療と福祉の結合

医療法人社団光生会 平川病院

〔ホームページ〕 <http://www.hirakawa.or.jp/>



真ん中が酒井科衛子前看護部長

酒井科衛子前看護部長が退職されました。

院長 平川 淳一

酒井さんは、平成8年に平川病院に入職されました。私が平成7年9月から院長になっているので、ほとんど一緒に駆け抜けてきた28年間だったと思います。石橋絹江さんや栗原京子さんなど個性的な看護部長の下、いつも元気よく、くじけず、前向きな姿勢には助けていただきました。平成17年に親御さんの介護のため一度は退職されましたが、平成18年（2006年）から師長として復帰いただきました。そして東日本大震災のあった平成23年（2011年）4月から看護部長に就任いただきました。ちょうど、病院の経営が危機的だった時期で私の心が折れそうなときもいつも「なんとかなりますよ」と笑顔で励ましてくれました。

今振り返ると、酒井さんの看護師としての人間力に助けられたように思います。大混乱で看護部長就任のお祝いもしていなかったと今になって申し訳ないと思います。私は多くの日本中の看護部長さんに会ってきましたが、酒井科衛子さん以上の人に出会ったことはありません。こんな凄い看護部長が平川病院にいてくれたこと、本当に私は幸せ者だと思います。長い間、ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

【表紙】院長あいさつ 【P2】令和6年度のネット・ゲーム症家族相談会を終えて

【P3】（リレー記事）中央検査科の紹介 【P4】令和6年度八王子市で行われた認知症イベント紹介

【P5】（委員会紹介）医療安全管理委員会 【P6】管理職者研修レポート・編集後記

令和6年度のネット・ゲーム症家族相談会を終えて

作業療法科 主任 山岸 真沙美

ネットやゲームの使用が生活の中心になってしまうと、日常生活や社会生活にさまざまな支障をきたし、この状態が長く続くと本人だけで解決することが難しく、周囲を巻き込んで問題が大きくなってしまいます。しかしネット・ゲーム症は若年層の割合が高く、本人の問題意識が希薄な場合が多いです。そのため、ご家族がネット・ゲーム症に関する正しい知識を身に付け、適切な対応方法を学ぶことが、回復への第一歩となります。

当院では月に1度、ネット・ゲーム症にお困りのご家族を対象に家族相談会を実施しています。昨年度は6月から2月にわたって全9回の日程で開催し、計9家族にご参加いただきました。内容は二部構成で、前半は宮田医師はじめデイケア・心理・作業療法スタッフによる講義形式での情報提供、後半は座談会となっています。座談会はフリートーク形式で、日々の困り

ごとから将来の不安などご家族が抱える悩みについて話し合い、解決の糸口を一緒に探しています。またご家族同士が互いに悩みを共有し、情報交換などを通して交流する場にもなっており、ご自身の経験を生かして助言し合う様子などが活発にみられとても有意義な時間になったと思います。会へ参加した方からは「苦しんでいるのは自分だけじゃないと分かり安心した」「気持ちを吐き出せる場があるだけで自分のストレス解消になる」などの声が聞かれ、依存症治療においては本人への支援だけでなく、ご家族のメンタルヘルスを守ることも重要であると改めて感じました。

今年度も開催に向けて準備を進めているところです。相談できる相手がおらず抱え込んでしまっている、そんなご家族さまのお手伝いが出来れば幸いです。

ぜひお気軽にご相談ください。

昨年度の内容【講義（前半）／ 座談会（後半）】

- 第1回：ネット・ゲーム症について①（依存とは？）
- 第2回：ネット・ゲーム症について②（依存と回復）
- 第3回：当院での治療・支援について
- 第4回：家族の対応①
- 第5回：合併症について
- 第6回：家族の対応②
- 第7回：家族の対応③
- 第8回：回復に役立つ社会資源について
- 第9回：座談会のみ

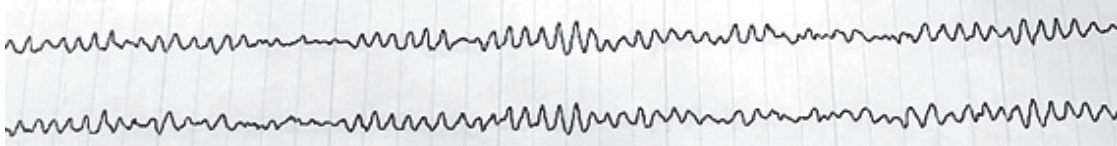


脳波検査について



中央検査科 臨床検査技師 新井 菜々美

いきなりですがこの画像の波形は何だと思えますか？



これは脳波です。この画像を見て脳波と分かった人は少ないのではないのでしょうか？
検査を行っている際にも「脳波検査はどんな検査なの？」と聞かれることもあり、あまり知られていないように感じます。そこで今回は脳波検査に関してご紹介したいと思います。

【脳波とは】

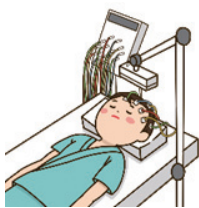
脳波は脳内で発生した電位変化を頭皮に装着した電極より記録したもので、脳の活動状態を見ることができます。てんかんの診断には必要不可欠で、それ以外にも意識障害の鑑別や脳腫瘍、脳梗塞などの場合でも行われる検査です。

【検査方法】

脳波検査には脳波計を使用します。専用のペーストを使用して頭皮に一つ一つ電極を装着していくのですが、適当ではありません。頭部を計測し、均等間隔になるように装着位置を決めています。



⇄脳波計



検査は仰向けに寝た姿勢で行い、安静、覚醒、閉眼の3つの条件がポイントとなります。

リラックスして、眠らず、目を閉じておく、基本はこの状態で脳波を測定していきます。

初めての場合は恐怖心や不安を感じ緊張してしまうかもしれませんがリラックスして検査を受けていただくことが重要です。

また、必要に応じてとなりますが、「賦活法」という手法を行います。短い検査時間のあいだにてんかんなどで発生する特徴的な波形が出ることは稀なため、賦活法を行い人為的に誘発することで診断に役立てます。

脳波検査の検査時間は準備片付けを含め30分から1時間程度かかる検査です。体に電気を流すものではないので痛みを感じることはなく、脳への影響もない安全な検査です。そして脳波は初めの画像のような波形として記録されます。

賦活法の例

- ・開閉眼：目を開けたり閉じたりを繰り返します
- ・過呼吸：安静時の呼吸よりも少し早い呼吸を繰り返します
- ・閃光刺激：目の上から光を点滅させます

簡単な紹介となりましたが脳波検査がどんな検査かイメージいただけたでしょうか？
私たち検査科は患者様が安心してより良い検査を受けられるような環境づくりに今後も努めていきたいと思っています。

「認知症があってもなくても誰もが住みやすい社会に」 ～令和6年度 八王子市で行われた認知症イベントのご紹介～

認知症疾患医療センター センター長代理 椎名 貴恵

認知症疾患医療センター（以下センター）では、認知症や介護についてご本人や介護をされている方を応援したり、市民の方に知っていただいたりするため様々な取り組みを行っています。今回のみやまでは八王子市、ケアラズカフェわたぼうしと一緒に取り組んだ「eまちサミット」についてご紹介します。

① いいまちサミットとは？

認知症の方やご家族が、自らの体験や思いを伝え、暮らしやすい八王子をめざして、認知症地域支援推進員がパートナーとなって様々な取り組みを行うものです。

八王子市が「認知症になっても、みんなが笑顔になるまち」との願いを込めて「笑顔（egao）」の語文字と「いいまち」の「いい」をとって「eまちサミット」と名付けました。

●お願い

携帯電話・スマートフォンはマナーモードにしてください、電源をお切りください。

会場内でのご飲食はお控えください。（水分補給は可能です）

●ご案内

展示スペースに、「高齢者あしん相談センターリーフレット」や「認知症まるごとガイドブック」「家族会のチラシ」等をご用意しております。

お選した封筒に入っている「介護者のためのお役立ちBOOK」は介護の先輩からのアドバイスです。ぜひご利用ください。

主催 八王子ケアラズカフェ × **HIRAKAWA HOSPITAL** × **八王子市**

〇後援 認知症の人と家族の会東京都支部、東京都多摩地区認知症総合支援センター、八王子市社会福祉協議会、八王子介護支援専門員連絡協議会

〇協力 TEAM-KNOW、八王子市高齢者あしん相談センター、認知症地域支援推進員

いいまちサミット

認知症家族介護者ミーティング

八王子市をとおして暮らしやすいまちに

令和6年11月2日(土) 13:30～15:30 開場 12:30

会場 生涯学習センター(クリエイトホール)5階ホール 八王子市東町5-6

プログラム

13:30 ごあいさつ
八王子市高齢者福祉課
八王子ケアラズカフェわたぼうし
東京都南多摩医療圏認知症疾患医療センター平川病院

13:50 はじめに「介護者の現状を知ろう」
＜講師＞
認知症の人と家族の会東京都支部代表 大野敦子氏

14:10 座談会 私の介護体験お話しします
「今、介護している人も、これから介護するかもしれない人も
～出会ってつながろう～」

15:25 閉会のご挨拶

① は介護をされている家族の方をテーマに令和6年11月2日に開催されました。実際に介護をしている6名の方にご協力いただき、ご自身の体験や「一人で悩まずにつなろう」という、介護をされている方へのメッセージなどをお話しいただきました。

認知症疾患医療センター認知症地域支援推進員 認知症地域支援員

手話通訳・要約筆記あり

認知症になっても好きなことを続けよう
～いつまでも自分らしく～

参加者には オリジナルエコバッグ を無料でプレゼント！

令和7年(2025年) 2/22 土

13時30分～16時30分 (開場 12時30分)

生涯学習センター 5階ホール (クリエイトホール) 住所: 八王子市東町5-6

対象: どなたでも 要申込 (定員160名/先着順)

10時30分～12時 (開場 10時) 対象: 市内在住・在勤・在学で満18歳以上の方

申込方法: 申込フォーム (先着48名)

問合せ: 八王子市福祉課高齢者福祉課 令和7年1月15日(水)午前9時から電話・FAX・申込フォームのいずれかでお申込ください。FAXの場合は「eまちサミット」「認知症体験会」のどちらかを選択するもの(両方可)・両者・両者(ふりかへない)・電話受付は要約筆記ありです。

心電: 042-629-7244 (受付時間 9:00～17:00) FAX: 042-624-7720 (療養の参加申込書をご利用ください)

【主催】 八王子市福祉課高齢者福祉課、南多摩医療圏認知症疾患医療センター(平川病院)、八王子ケアラズカフェわたぼうし、八王子市社会福祉協議会、八王子介護支援専門員連絡協議会、認知症地域支援推進員、認知症当事者と家族

② は認知症のあるご本人（以下当事者）をテーマに令和7年2月22日に開催されました。認知症になったら何もできなくなってしまうわけではなく、好きなことを続け、自分らしく生活を続けていくという新しい「認知症観」や当事者の意思を尊重した生活について講師の認知症介護研究・研修東京センター永田久美子先生のお話を伺ったあと、当事者の方とのトークセッションが行われました。お話の合間には、当事者の方がピアノやクラシックギターを演奏してくださいました。

このようなイベントを通して認知症についての理解を深めていただき「認知症があってもなくても」安心して暮らせる社会をめざすこともセンターの役割と思っています。

Series 委員会紹介 医療安全管理委員会 です♪

医療安全管理者 東4病棟 師長 古谷 圭吾

当院では医療安全管理部門として医療安全管理委員会、リスクマネジメント委員会、虐待防止委員会、自殺予防対策プロジェクトチームがあります。

医療安全管理委員会はリスクマネジメント委員会と連携し医療事故防止に向けた取り組み、発生した医療事故への対応、院内で発生した医療事故の情報収集や分析、対策の検討、立案、再発防止支援、医療安全にかかわる研修及び教育等を行っています。

また医薬品や医療機器、放射線についても安全管理者を設置し委員会の中で、それぞれの安全使用、運用の観点から議論や周知を行い、点検や研修なども行っています。

自殺予防プロジェクトチームでは多職種チームで自殺予防のための様々な活動を行っています。現在は、入院時等に行う自殺衝動に関するアセスメントについて見直しや運用の改訂、自殺リスクのある患者様の予防支援、自殺未遂後の振り返りやフォローなどを積極的に行っています。また、それらの活動を医療安全管理委員会と連携して行っています。

虐待防止委員会については3月号で委員会紹介させていただきましたので、3月号を見ていただけると幸いです。

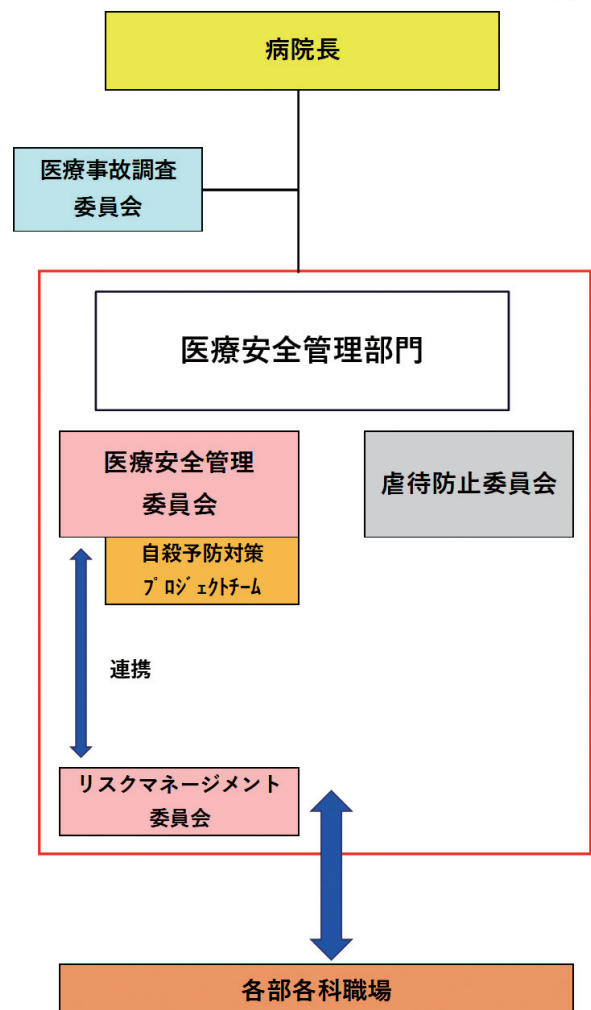
リスクマネジメント委員会の具体的活動を1つ紹介させていただきます。

「医療安全ラウンド」⇨院内の不安全環境等の改善を目的に委員会で設定した5つ程度の項目に沿って定期的に委員による全部署ラウンドを実施しています。不安全な環境が確認さ

れれば、その場で指導を行い、改善策の提出を行ってまいります。その後、改善されているかのラウンドも行い、定期的に委員会内でラウンド項目の見直し、改訂を行い、今はVer.5のラウンド項目の見直し、改訂を行っています。

今後も当院に受診・入院する患者様やご家族にとって安心・安全の医療が受けられるよう、そして当院で働く職員や関係者が安心・安全の医療が提供できるよう活動していきたいと思っています。

2024/4/1現在



管理職者研修を行いました



2月から3月にかけて職員の管理職者を対象に3つの研修を行いました。

◎自殺防止研修（自殺事後対応）

グループワークにて事例検討を行い、自殺事後対応について管理職員としての関わり方やフォロー方法を考える機会となり、理解が深まった研修となりました。

◎ハラスメント防止研修

外部講師((株)日本教育クリエイト 諸井 清花 氏)をお招きし、ハラスメントについて事例検討を交えながら学びました。

◎虐待防止に関する研修

改正精神保健福祉法について理解を深めるとともに、管理者として虐待を未然に防止する対策について学びました。

編集後記

新たな年度のスタートを迎える4月、敷地内に咲く桜も満開となりました。コロナ禍により自粛されていた花見も再開し、桜の名所は花見客で賑わっています。その一方で、長時間の場所取りや桜の枝を折る等の迷惑行為による住民トラブルが問題視されています。当院では3月より敷地内における紙タバコの喫煙を禁止しました。清掃業者及び売店の協力もあり、今では院内の臭いや煙もなくなり、綺麗になりました。今後もより良い院内環境を目指します。

医療法人社団光生会 平川病院

東京都八王子市美山町1076

電話 042-651-3131

FAX 042-651-3133

編集 平川病院 広報委員会

ご意見ご感想はこちらへお願いします

kouhou@hhsp1966.jp

